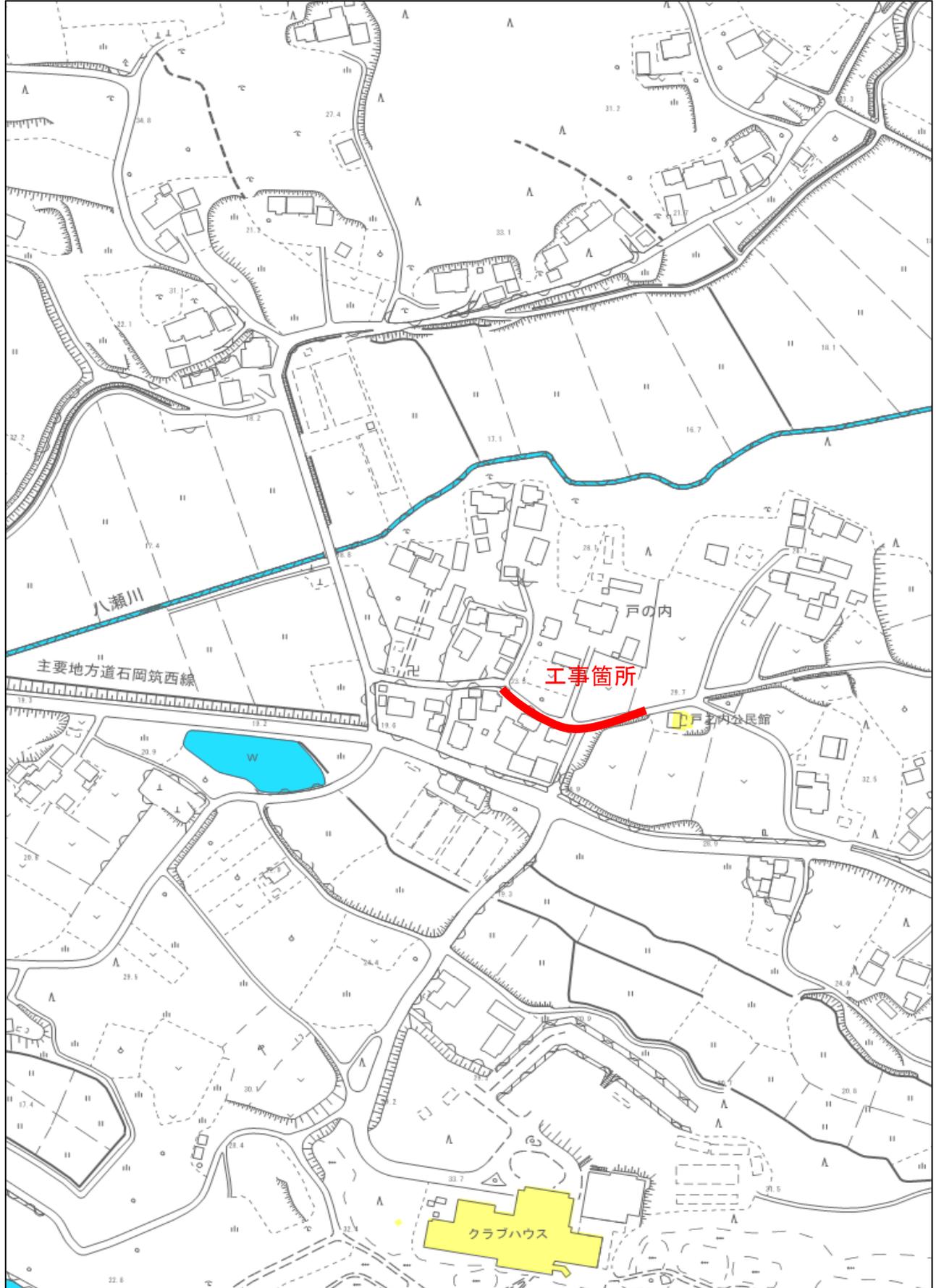


位置図



R2単・市道B7317号線排水整備工事（石岡市 下林 地内）

特記仕様書

(総則)

- 第1条 本特記仕様書は、R2単・市道B7317号線排水整備工事に適用する。
- 2 本特記仕様書は、茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書(以下、「共通仕様書」という。)を補完する。

(工期)

- 第2条 工期は、契約書に記載された期間内に完了するよう順守すること。なお、休日等には日曜日、祝日、年末年始休暇及び夏季期休暇を含んでいる。

(工事数量)

- 第3条 工事数量は、別冊工事設計書内に記載されたとおりとする。

(工程関係)

- 第4条 工事の作業時間帯は、下表のとおりとすること。なお、作業時間帯の変更を要する場合には、速やかに監督員と協議すること。

工種	作業時間帯	期間
全工種	作業開始 9時00分 作業終了 17時00分	工期期間内

(建設資材)

- 第5条 使用する資材のうち、下表の工種には、茨城県リサイクル建設資材を使用すること。なお、指定されたりサイクル建設資材の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。

工種	リサイクル建設資材	規格
排水構造物工	再生砕石	RB-40
舗装工	再生砕石	RC-40
舗装工	再生As	再生密粒度As (13)

(建設機械)

- 第6条 使用機械のうち、バックホウ、ブルドーザー、モータグレーダ、ロードローラ、タイヤローラについては、排出ガス対策型の第1次基準値以上(ただし、バックホウ山積0.8m³並びにASフィニッシャーについては、第2次基準値のもの)を使用すること。
- 2 排出ガス対策型機械の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、排出ガス対策型機械を使用しないこととなった場合、契約変更の対象となることがある。

(過積載の防止)

- 第7条 本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。
- (1) 積載重量制限を超過して工事用資材等を積み込まず、また積み込ませないこと。
 - (2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
 - (3) 資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。

- (4) さし枠装着車，物品積載装置の不正改造をしたダンプカー及び不正表示車等に土砂等を積み込まず，また積み込ませないこと。また，これらの車両を工事現場に出入りさせないこと。
- (5) 過積載車両，さし枠装着車，不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等，過積載を助長するような行為をしないこと。
- (6) 取引関係のあるダンプカー事業者が不正行為(過積載、さし枠装着車や不正表示車等の使用)を行っている場合には，早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (7) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下「法」という。)の目的に鑑み，法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ，同団体等への加入者の使用を促進すること。
- (8) 下請契約の相手方や資材納入業者の選定にあたっては，交通安全に対する配慮に欠ける者やダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

(交通誘導員の配置)

第8条 工事の施工にあたっては，交通誘導員2名を配置し，一般交通等に支障のないよう十分注意して施工すること。なお，交通誘導員は警備業者の交通誘導業務に従事する警備員とするとともに，別途協議する道路工事実施協議書どおりの配置により難しい場合には，監督員と協議すること。

(発生土の処理)

第9条 本工事における発生土については，下記により搬出すること。

- (1) 搬出先にストックヤードを利用するよう指定されている場合は，設計書により(財)茨城県建設技術管理センター(以下「管理センター」という)，が管理する所定のストックヤードを利用すること。
- (2) 工事着手前に，ストックヤードの利用申込みを管理センターに対して行うこと。
- (3) 事前にストックヤードに搬出する土砂の土質試料を採取し，必要な試験を行うとともに，その結果を管理センターへ提出すること。
- (4) 搬出する10日以上前に，管理センターと運搬経路，工程等について打ち合わせを行うこと。
- (5) スtockヤード利用料金は，設計地山土量1m³当たりの単価で算出し，管理センターの請求により支払うこと。
- (6) このほかストックヤード利用の詳細については管理センターと協議のこと。

(建設副産物実態調査)

第10条 建設副産物実態調査(センサス)の対象となる建設副産物の品目については，「建設副産物情報交換システム(COBRIS)」によりデータを作成後，出力した調査票1部を監督員に提出すること。なお，出力した調査票は，茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書第1編第1章総則1-1-18建設副産物第7項に基づく再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の提出に代わるものとする。

(建設リサイクル法に係る積算条件明示)

第11条 本工事は建設リサイクル法の対象工事である。本工事における分別解体・再資源化等については，下記の積算条件を設定している。なお，この条件は，契約締結時に発注者と請負者の間で確認されるものであり，確認した内容が別の方法となった場合でも，契約変更の対象としない。ただし，工事発注後に明らかになった事情

や、請負者の責によるものでない事項により、予定した条件によりがたい場合には、監督員と協議するものとする。

(1) 分別解体等の方法

工程ごとの作業内容及び解体方法	工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法 (※1)
	①仮設	仮設工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥その他 ()	その他の工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

※1 該当がない場合は記載の必要はない。

(2) 再資源化をする施設の名称及び所在地(※2)

特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所 在 地
アスファルト・コンクリート塊	大成ロテック(株) 石岡合材工場	石岡市三村字大塚5918
コンクリート塊	日東エンジニアリング (株)	土浦市沢辺1544-1

※2 積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。

(再資源化等報告書)

第12条 分別解体・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、監督員の指示する様式を作成し、監督員に報告すること。

(不正軽油の使用防止)

第13条 本工事の施工にあたっては、下記の事項を遵守すること。

- (1) 現場で不正軽油を使用しないこと。
- (2) 現場で不正軽油を使用させないこと。
- (3) 不正軽油を購入しないこと。
- (4) 取引関係にある運送事業者等が不正軽油を使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講じること。
- (5) 下請契約の相手方、または燃料納入業者を選定するにあたっては、不正軽油を使用する者、または不正軽油を販売する者を排除すること。
- (6) 県税事務所職員による使用燃料の抜き取り調査に協力すること。また、調査の際には、現場代理人が立ち会うこと。
- (7) 当該工事に関して、法令(地方税法等)に違反していることが判明した場合は、直ちに監督員に報告すること。

(労働安全衛生法等の遵守)

第14条 請負人は、共通仕様書1-1-34に基づき、労働安全衛生法等関係法令を遵守し、特に次の事項に留意すること。

- (1) 受注者は、高所作業における作業床、囲い、二段手すり、幅木、防網の設置、作業員の安全帯の使用、悪天候時の作業禁止、照度の保持、踏み抜きの防止、不

- 用のたて杭等における危険の防止，昇降設備の設置，墜落危険箇所の立入禁止等により，墜落・転落災害の防止措置を講じること。
- (2) 受注者は，建設機械による作業に先立ち，当該建設機械の転落，地山の崩壊等による作業員の危険を防止するため，地形や地質の状況等を調査し，作業計画を定めてから作業を行うこと。また，作業中は，機械の制限速度，転落・接触等の防止，誘導者の合図，運転者が運転位置から離れるときの措置，機械の移送，搭乗・使用の制限，修理等について，関係法令を遵守すること。
- (3) 受注者は，地山の掘削作業に先立ち，地山の崩壊や埋設物の損壊等により危険を及ぼすおそれのあるときは，作業箇所及び周辺の地山について調査し，掘削の時期及び順序を定めて作業を行うこと。また，土砂崩壊災害の防止等のため，手掘り掘削における掘削面の勾配や土止め支保工，防護網の設置，作業員の立入禁止，埋設物等による危険の防止，掘削機械等の使用制限，誘導者の配置，保護帽の着用，照度の保持等について，関係法令を遵守すること。
- (4) 受注者は，建設機械の操作や玉掛け作業を，法令で定める免許を有する者，または技能講習や特別教育修了者に行わせること。
- (5) 受注者は，掘削面の高さが2m以上となる地山の掘削作業を行う場合，地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を終了した者のうちから，地山の掘削作業主任者を選任しなければならない。
- (6) 受注者は，土止め支保工の切り梁，腹起こしの取り付け，取り外し作業を行う場合，地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を修了した者のうちから，土止め支保工作業主任者を選任しなければならない。
- 2 受注者は，監督員より作業員の免許等の提示を求められたときは，協力すること。

(疑義)

第15条 本工事の施工及び設計図書等に疑義が生じた場合には，監督員と協議のうえ，その指示に従うこと。

工事数量総括（内訳）表

第 02-00-601-K-001 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
道路改良			1	式		
構造物撤去工			1	式		
構造物取壊し工			1	式		コンクリート構造物取壊し 8.000 m3 舗装版切断 98.000 m 舗装版破碎 54.000 m2
運搬処理工			1	式		殻運搬 11.000 m3 殻処分 11.000 m3
排水構造物工			1	式		
作業土工			1	式		床掘り 10.000 m3 埋戻し 5.000 m3 土砂等運搬 30.000 m3
側溝工			1	式		プレキャストU型側溝 90.000 m 側溝蓋（コンクリート蓋・グレーチング・消音ゴム） 90.000 枚
集水樹・マンホール工			1	式		プレキャスト集水樹 1.000 箇所
仮設工			1	式		
交通管理工			1	式		交通誘導警備員 14.000 人日
舗装			1	式		
道路土工			1	式		
掘削工			1	式		掘削 20.000 m3
舗装工			1	式		
アスファルト舗装工			1	式		下層路盤（路肩・歩道幅） 49.000 m2 上層路盤（路肩・歩道幅） 49.000 m2 表層（路肩・歩道幅） 49.000 m2
直接工事費計			1	式		
共通仮設費（率計上）			1	式		

工事数量総括（内訳）表

第 02-00-601-K-001 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
共通仮設費計						
			1	式		
純工事費						
			1	式		
現場管理費						
			1	式		
工事原価						
			1	式		
一般管理費等						
			1	式		
工事価格						
			1	式		
消費税相当額						
			1	式		
請負工事費						
			1	式		

本工事費内訳書

第 02-00-601-K-001 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
道路改良									
構造物撤去工									
構造物取壊し工									
コンクリート構造物取壊し					8.000	m3			
構造物とりこわし 構造物区分(鉄筋構造物), 工法区分(機械施工), 時間的制約の有無(無し), 夜間作業の有無(無し), 低騒音・低振動対策(不要)					8.000	m3			第0001号代価表
舗装版切断					98.000	m			
舗装版切断 舗装版種別(アスファルト舗装版), アスファルト舗装版厚(15cm以下), 費用の内訳(全ての費用)					98.000	m			施工P 第0002号代価表
舗装版破砕					54.000	m2			
舗装版破砕 舗装版種別(アスファルト舗装版), 障害等の有無(無し), 騒音振動対策(不要), 舗装版厚(15cm以下), 積込作業の有無(有り), 費用の内訳(全ての費用)					54.000	m2			施工P 第0003号代価表
運搬処理工									
殻運搬					11.000	m3			
殻運搬(アスファルト) 殻発生作業(舗装版破砕), 積込工法区分(機械(騒音対策不要、厚15cm以下)), DID区間の有無(無し), 運搬距離(km) (DID区間無)(22.0km以下), 費用の内訳(全ての費用)					3.000	m3			施工P 第0004号代価表
殻運搬(コンクリート) 殻発生作業(Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし), 積込工法区分(機械積込), DID区間の有無(無し), 運搬距離(km) (DID区間無)(15.5km以下), 費用の内訳(全ての費用)					8.000	m3			施工P 第0005号代価表

本工事費内訳書

第 02-00-601-K-001 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
殻処分	11.000	m3			
アスファルト廃材処理費(中間処理施設) 掘削材 40cm以下	6.000	t			
コンクリート廃材処理費(中間処理施設) 道路用コンクリート製品(メッシュ筋) 60cm以下	20.000	t			
排水構造物工					
作業土工					
床掘り	10.000	m3			
床掘り 土質(土砂), 施工方法(上記以外(小規模)), 費用の内訳(全ての費用)	10.000	m3			施工P 第0006号代価表
埋戻し	5.000	m3			
埋戻し 施工方法(上記以外(小規模)), 土質(土砂), 費用の内訳(全ての費用)	5.000	m3			施工P 第0007号代価表
土砂等運搬	30.000	m3			
土砂等運搬 土砂等発生現場(小規模), 積込機種・規格(バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3)), 土質(土砂(岩塊・玉石混り土含む)), DID区間の有無(無し), 運搬距離(km)(DID区間無)(7.5km以下)	30.000	m3			施工P 第0008号代価表
側溝工					
プレキャストU型側溝	90.000	m			

本 工 事 費 内 訳 書

第 02-00-601-K-001 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
長尺U字溝(歩道用)[土木工事標準単価] 作業区分(据付), U字側溝種類(KUS300*300), 夜間作業の有無(無), 時間的制約の有無(無し), 施工箇所による補正(無), 基礎砕石施工の有無(有), 基礎砕石の種類(再生クランチャー RB-40), 基礎砕石設計数量(0.5 m ³ /10 m)	90.000	m			第0009号代価表
側溝蓋 (コンクリート蓋・グレーチング・消音ゴム)	90.000	枚			
コンクリート側溝蓋(歩道用)(県規格)[土木工事標準単価] 作業区分(据付), 蓋版の種類(ISL-300), 夜間作業の有無(無), 時間的制約の有無(無し), 施工箇所による補正(無)	85.000	枚			第0010号代価表
鋼鉄製蓋布設(長尺U字溝)(T14)[土木工事標準単価] 作業区分(据付), 蓋版の種類(T-14 300用), 夜間作業の有無(無), 時間的制約の有無(無し), 施工箇所による補正(無)	5.000	枚			第0011号代価表
消音ゴム U字溝 1本当り加算額	45.000	個			
集水桝・マンホール工					
プレキャスト集水桝	1.000	箇所			
プレキャスト集水桝(据付費) 作業区分(据付), 製品質量(kg/基)(600kgを超え800kg以下), 基礎砕石の有無(有り), 費用の内訳(全ての費用)	1.000	基			施工P 第0012号代価表
プレキャスト集水桝(T-14底なし 500×500×700)(材料費)	1.000	基			施工P 第0013号代価表
底部調整コンクリート工 構造物種別(無筋・鉄筋構造物), 打設工法(人力打設), コンクリート規格(18-8-25(高炉)), 養生工の種類(一般養生), 現場内小運搬の有無(有り), 費用の内訳(全ての費用)	0.040	m ³			施工P 第0014号代価表
仮設工					
交通管理工					

本工事費内訳書

第 02-00-601-K-001 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
	交通誘導警備員				14.000	人日			
	交通誘導警備員B				14.000	人日			第0015号代価表
	舗装								
	道路土工								
	掘削工								
	掘削				20.000	m3			
	掘削 土質(土砂), 施工方法(上記以外(小規模)), 施工数量(小規模(標準以外))				20.000	m3			施工P 第0016号代価表
	舗装工								
	アスファルト舗装工								
	下層路盤(路肩・歩道幅)				49.000	m2			
	下層路盤(幅員歩道条件) 全仕上り厚(実数入力)(200mm), 施工区分(1層施工), 材料(再生クラッシュレン RC-40), 費用の内訳(全ての費用)				49.000	m2			施工P 第0017号代価表
	上層路盤(路肩・歩道幅)				49.000	m2			
	上層路盤(幅員歩道条件) 全仕上り厚(実数入力)(150mm), 施工区分(1層施工), 材料(粒度調整碎石 M-30), 費用の内訳(全ての費用)				49.000	m2			施工P 第0018号代価表
	表層(路肩・歩道幅)				49.000	m2			
	表層(幅員歩道条件) 平均幅員(1.4m未満(仕上厚50mm以下)), 1層当平均仕上厚 50mm以下(50mm), 材料(再生密粒度アスファルト混合物(13)), 瀝青材料種類(プライムコート PK-3), 費用の内訳(全ての費用)				49.000	m2			施工P 第0019号代価表

本工事費内訳書

第 02-00-601-K-001 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
直接工事費計									
共通仮設費 (率計上)									
共通仮設費計									
純工事費									
現場管理費									
工事原価									
一般管理費等									
工事価格									
消費税相当額									
請負工事費									

第 0001 号 代価表 構造物とりこわし

第 02-00-601-K-001号

1.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
鉄筋構造物 昼間 機械施工 制約無	1.000	m 3			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 構造物区分		2		鉄筋構造物	
J 0 2 工法区分		1		機械施工	
J 0 3 時間的制約の有無		1		無し	
J 0 4 夜間作業の有無		1		無し	
J 0 5 低騒音・低振動対策		2		不要	

第 0002 号 代価表 舗装版切断

施工P(機6.42%, 労53.37%, 材40.21%, 市0.00%)

第02-00-601-K-001号

1.000 m 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深20cm級	4.340	%			K1
特殊作業員	18.480	%			R1
世話役	9.590	%			R2
普通作業員	8.000	%			R3
コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ	37.360	%			Z1
ガソリン レギュラー	1.930	%			Z2
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J01 舗装版種別	1	アスファルト舗装版
J02 アスファルト舗装版厚	1	15cm以下
J05 費用の内訳	1	全ての費用

第 0003 号 代価表 舗装版破碎

施工P(機10.10%, 労81.87%, 材8.03%, 市0.00%)

第02-00-601-K-001号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	10.100	%			K1
世話役	29.500	%			R1
運転手 (特殊)	27.770	%			R2
普通作業員	24.600	%			R3
軽油 1.2号	8.030	%			Z1
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J01 舗装版種別	1	アスファルト舗装版
J02 障害等の有無	1	無し
J03 騒音振動対策	1	不要
J04 舗装版厚	4	15cm以下
J06 積込作業の有無	1	有り
J07 費用の内訳	1	全ての費用

第 0004 号 代価表 殻運搬

施工P(機48.90%, 労36.46%, 材14.64%, 市0.00%)

第02-00-601-K-001号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級	48.900	%			K1
運転手 (一般)	36.460	%			R1
軽油 1.2号	14.640	%			Z1
			(標準単価 積算単価)	

条件名称	入力値	入力名称
J01 殻発生作業	2	舗装版破碎
J02 積込工法区分	4	機械 (騒音対策不要、厚15cm以下)
J03 DID区間の有無	1	無し
J10 運搬距離 (km) (DID区間無)	6	22.0km以下
J16 費用の内訳	1	全ての費用

第 0005 号 代価表 殻運搬

施工P(機48.90%, 労36.46%, 材14.64%, 市0.00%)

第02-00-601-K-001号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級	48.900	%			K1
運転手 (一般)	36.460	%			R1
軽油 1.2号	14.640	%			Z1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J01 殻発生作業	1	Co (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし
J02 積込工法区分	1	機械積込
J03 DID区間の有無	1	無し
J04 運搬距離 (km) (DID区間無)	13	15.5km以下
J16 費用の内訳	1	全ての費用

第 0006 号 代価表 床掘り

施工P(機23.22%, 労69.53%, 材7.25%, 市0.00%)

第02-00-601-K-001号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ(クローラ) [後方超小旋回型] 排ガス型(第2次) 山積0.28m3	23.220	%			K1
運転手(特殊)	37.610	%			R1
普通作業員	31.920	%			R2
軽油 1.2号	7.250	%			Z1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J01 土質	1	土砂
J02 施工方法	5	上記以外(小規模)
J05 費用の内訳	1	全ての費用

第 0007 号 代価表 埋戻し

施工P(機11.23%, 労84.85%, 材3.92%, 市0.00%)

第02-00-601-K-001号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ（クローラ） [後方超小旋回型] 排ガス型（第2次） 山積0.28m ³	10.540	%			K1
ランマ 質量60～80kg	0.690	%			K2
普通作業員	48.460	%			R1
特殊作業員	19.320	%			R2
運転手（特殊）	17.070	%			R3
軽油 1.2号	3.290	%			Z1
ガソリン レギュラー	0.630	%			Z2
			(標準単価 積算単価)

	条件名称	入力値	入力名称
J01	施工方法	5	上記以外（小規模）
J02	土質	1	土砂
J04	費用の内訳	1	全ての費用

第 0008 号 代価表 土砂等運搬

施工P(機27.16%, 労60.81%, 材12.03%, 市0.00%)

第02-00-601-K-001号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4 t 積級	27.160	%			K1
運転手 (一般)	60.810	%			R1
軽油 1. 2号	12.030	%			Z1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 土砂等発生現場	2	小規模
J 0 2 積込機種・規格	5	バックホウ山積0.28m3 (平積0.2m3)
J 0 3 土質	1	土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
J 0 4 DID区間の有無	1	無し
J 1 3 運搬距離 (km) (DID区間無)	9	7.5km以下

第 0009 号 代価表 長尺U字溝(歩道用)[土木工事標準単価]

第 0 2 - 0 0 - 6 0 1 - K - 0 0 1 号

10.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
U型側溝 昼間 L2000 1000kg以下 制約無	10.000	m			
長尺U字溝 歩道用 KUS-300×300	5.000	本			
再生クラッシャーラン RB-40	0.600	m ³			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 作業区分	1	据付
J 0 2 U字側溝種類	1	KUS300*300
J 0 3 夜間作業の有無	2	無
J 0 4 時間的制約の有無	1	無し
J 0 5 施工箇所による補正	1	無
J 0 6 基礎碎石施工の有無	1	有
J 0 7 基礎碎石の種類	4	再生クラッシャーラン RB-40
J 0 8 基礎碎石設計数量	0.5	0.5 m ³ /10m

第 0010 号 代価表 コンクリート側溝蓋(歩道用)(県規格)[土木工事標準単価]

第 02-00-601-K-001号

100.000

枚 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
蓋版コンクリート・鋼製 昼間 170kg以下 制約無	100.000	枚			
現場打側溝用および長尺U字溝用蓋 歩道用 ISL-300	100.000	枚			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 作業区分	1	据付
J 0 2 蓋版の種類	6	ISL-300
J 0 3 夜間作業の有無	2	無
J 0 4 時間的制約の有無	1	無し
J 0 5 施工箇所による補正	1	無

第 0011 号 代価表 鋼鉄製蓋布設(長尺U字溝)(T14)[土木工事標準単価]

第 0 2 - 0 0 - 6 0 1 - K - 0 0 1 号

100.000

枚 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
蓋版コンクリート・鋼製 昼間 40kg以下 制約無	100.000	枚			
鋼鉄製側溝蓋(長尺U字溝用) T-14 300用	100.000	枚			
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 作業区分	1	据付
J 0 2 蓋版の種類	1	T-14 300用
J 0 3 夜間作業の有無	2	無
J 0 4 時間的制約の有無	1	無し
J 0 5 施工箇所による補正	1	無

第 0012 号 代価表 フレキャスト集水桝

施工P(機11.24%, 労86.66%, 材2.10%, 市0.00%)

第02-00-601-K-001号

1.000 基 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ(クローラ) [標準・クレーン機能付き] 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 1.7t吊	9.070	%			K1
運転手(特殊)	27.250	%			R1
普通作業員	26.760	%			R2
世話役	12.820	%			R3
特殊作業員	3.070	%			R4
軽油 1.2号	1.700	%			Z1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J01 作業区分	1	据付
J02 製品質量(kg/基)	5	600kgを超え800kg以下
J03 基礎碎石の有無	1	有り
J04 費用の内訳	1	全ての費用

第 0014 号 代価表 コンクリート

施工P(機0.00%, 労39.61%, 材60.39%, 市0.00%)

第02-00-601-K-001号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
普通作業員	23.860	%			R1
特殊作業員	7.440	%			R2
世話役	5.600	%			R3
生コンクリート 18-8-25 (20) 高炉	60.390	%			Z1
			(標準単価 積算単価)	

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 構造物種別	1	無筋・鉄筋構造物
J 0 2 打設工法	4	人力打設
J 0 3 コンクリート規格	41	18-8-25 (高炉)
J 0 5 養生工の種類	2	一般養生
J 0 7 現場内小運搬の有無	1	有り
J 1 3 費用の内訳	1	全ての費用

第 0015 号 代価表 交通誘導警備員B

第 0 2 - 0 0 - 6 0 1 - K - 0 0 1 号

1.000 人日 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B	1.000	人			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称

第 0016 号 代価表 掘削

施工P(機24.57%, 労67.61%, 材7.82%, 市0.00%)

第 0 2 - 0 0 - 6 0 1 - K - 0 0 1 号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
小型バックホウ（クローラ）〔標準〕 排出ガス対策型（第2次基準） 山積0.13m3	24.570	%			K1
運転手（特殊）	67.610	%			R1
軽油 1.2号	7.820	%			Z1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 土質	1	土砂
J 0 2 施工方法	5	上記以外（小規模）
J 0 6 施工数量	8	小規模（標準以外）

第 0017 号 代価表 下層路盤(歩道部)

施工P(機6.39%, 労69.63%, 材23.98%, 市0.00%)

第 02-00-601-K-001号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
小型バックホウ(クローラ) [標準] 山積0.11m ³ (平積0.08m ³)	3.310	%			K1
振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 運転質量3~4t	2.900	%			K2
普通作業員	29.260	%			R1
運転手(特殊)	24.600	%			R2
特殊作業員	13.750	%			R3
再生クラッシャーラン RC-40	22.040	%			Z1
軽油 1.2号	1.890	%			Z2
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J01 全仕上り厚(実数入力)	200	200 mm
J02 施工区分	1	1層施工
J03 材料	6	再生クラッシャーラン RC-40
J04 費用の内訳	1	全ての費用

第 0018 号 代価表 上層路盤(歩道部)

施工P(機5.85%, 労63.78%, 材30.37%, 市0.00%)

第 0 2 - 0 0 - 6 0 1 - K - 0 0 1 号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
小型バックホウ(クローラ) [標準] 山積0.11m ³ (平積0.08m ³)	3.030	%			K1
振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 運転質量3~4t	2.650	%			K2
普通作業員	26.800	%			R1
運転手(特殊)	22.530	%			R2
特殊作業員	12.600	%			R3
粒度調整碎石 M-30	28.590	%			Z1
軽油 1.2号	1.730	%			Z2
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 全仕上り厚(実数入力)	150	150 mm
J 0 2 施工区分	1	1層施工
J 0 3 材料	5	粒度調整碎石 M-30
J 0 4 費用の内訳	1	全ての費用

第 0019 号 代価表 表層(歩道部)

施工P(機0.54%, 労48.56%, 材50.90%, 市0.00%)

第02-00-601-K-001号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5~0.6t	0.370	%			K1
振動コンパクタ [前進型] 機械質量40~60kg	0.090	%			K2
特殊作業員	19.150	%			R1
普通作業員	16.670	%			R2
世話役	4.990	%			R3
再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物(13)	45.020	%			Z1
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	5.750	%			Z2
ガソリン レギュラー	0.070	%			Z3
軽油 1.2号	0.040	%			Z4
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J01 平均幅員	1	1.4m未満 (仕上厚50mm以下)
J02 1層当平均仕上厚 50mm以下	50	50 mm
J05 材料	11	再生密粒度アスファルト混合物 (13)
J06 瀝青材料種類	2	プライムコート PK-3
J07 費用の内訳	1	全ての費用

数量計算総括表

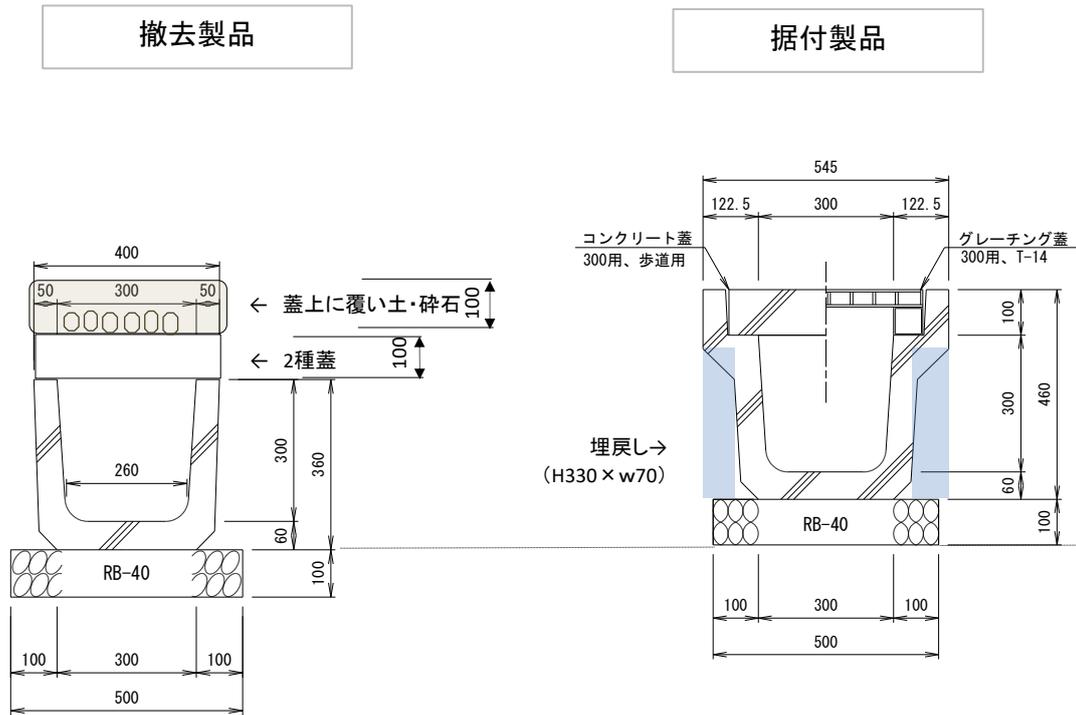
工事名:R2単・市道B7317号線排水整備工事 工事箇所:石岡市下林地内

工種	種別	規格	数式	数量	単位
土工					
	掘削	小規模	17.6 = 17.6	20.0	m ³
	床堀	小規模	13.2 = 13.2	10.0	m ³
	埋戻(発生土)	小規模	4.5 = 4.5	5.0	m ³
	残土処理	ダンプトラック4t	$(17.6 + 13.2) - (0.0 + 4.5) / 0.9 = 25.8$	30.0	m ³
構造物撤去工					
	アスファルト舗装版切断		$81.5 \text{ m} + (8 \text{ m} \times 2) = 97.5$	98.0	m
	アスファルト舗装版取壊		$53.6 \text{ m}^2 = 53.6$	54.0	m ²
	Co構造物取壊	U字溝300B + U型蓋(2種)	$4.6 \text{ m}^3 + 3.2 \text{ m}^3 = 7.8$	8.0	m ³
運搬処理工	殻処分	Asガラ	$53.6 \text{ m}^2 \times 0.05 \text{ m} = 2.7$	3.0	m ³
			$2.7 \text{ m}^3 \times 2.35 = 6.3$	6.0	t
		Coガラ	$4.6 \text{ m}^3 + 3.2 \text{ m}^3 = 7.8$	8.0	m ³
			$11.5 \text{ t} + 8.05 \text{ t} = 19.5$	20.0	t
排水工					
	長尺U字溝	KUS300*300据付	$89.5 = 89.5$	90.0	m
	コンクリート蓋	ISL-300	$85.0 = 85.0$	85.0	枚
	グレーチング蓋	T-14 300用	$5.0 = 5.0$	5.0	枚
	消音ゴム	U字溝1本あたり	$45.0 = 45.0$	45.0	個
	集水柵設置工	500×500×H700(底なし)	$1.0 = 1.0$	1.0	基
	底部調整コンクリート工	0.5×0.5×0.15	$0.04 = 0.04$	0.04	m ³
舗装工					
	下層路盤工	RC-40 t=200	$48.8 = 48.8$	49.0	m ²
	上層路盤工	M-30 t=150	$48.8 = 48.8$	49.0	m ²
	表層工	再生密粒度As(13) t=50	$48.8 = 48.8$	49.0	m ²

単位数計算書

細別：床掘・埋戻し断面積
規 格：300×300

略 図



材料／規格	算 式	数 量
	<p>■床掘</p> <p><BP~No4+9.5 ※No1+12~No2除く > $W0.6 \times h0.56 - U字溝本体及び蓋 (0.46 \times 0.4)$ $= 0.336\text{m}^2 - 0.184\text{m}^2$ $= 0.152\text{m}^2$ (断面積)</p> <p><No1+12~No2区間 > 舗装済み箇所 8 m $W0.6 \times h (0.56 - 0.05) - U字溝本体及び蓋 (0.46 \times 0.4)$ (↑舗装部控除) $= 0.306\text{m}^2 - 0.184\text{m}^2$ $= 0.122\text{m}^2$ (断面積)</p> <p>■埋戻し $0.33\text{m} \times 0.07\text{m} \times 2 = 0.046\text{m}^2$ (断面積)</p>	

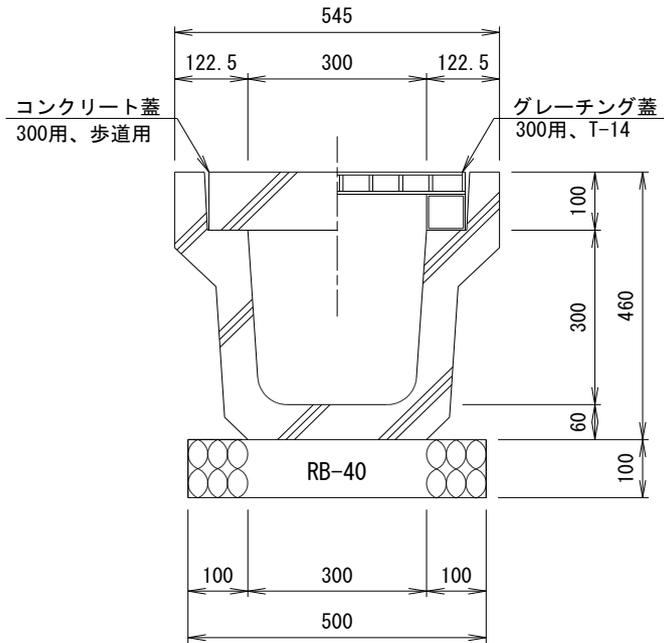
U字溝300B取り壊し L= 89.5 m		1.0 式 当り	数 量 表
名 称	計 算 式		数 量
延 長	89.5	=	89.50 m
U300B	L= 0.60 m/本 本数 89.5 ÷ 0.600 = 149.2		149 本
	1本当り重量 77 kg 重量 149 × 77 kg 重量= 11.473 t		11.473 t
	体 積 11.47 t ÷ 2.50 t/m ³ = 4.588 m ³		4.588 m ³
U型蓋(2種)	L= 0.60 m/枚 枚数 89.5 ÷ 0.600 = 149.2		149 本
	1枚当り重量 54 kg 重量 149 × 54 kg 重量= 8.046 t		8.046 t
	体 積 8.05 t ÷ 2.50 t/m ³ = 3.220 m ³		3.220 m ³

単位数量計算書

細 別：長尺U字溝
規 格：KUS300×300

10.0 m当り

略 図

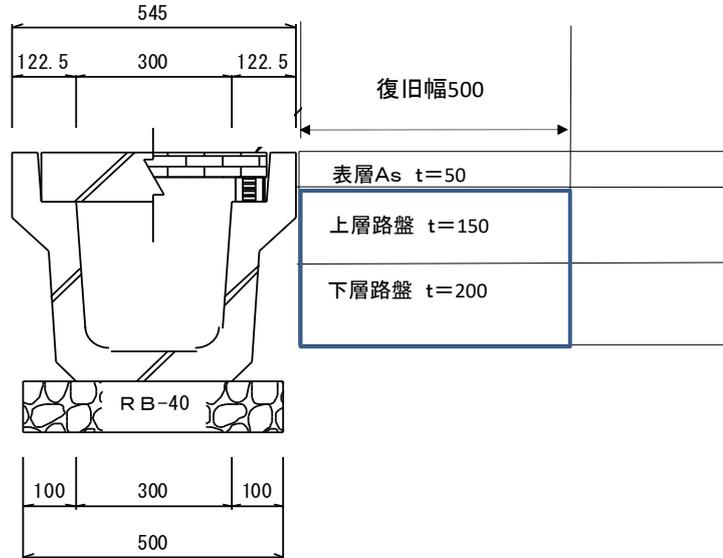


材料/規格	算 式	数 量
長尺U字溝 KUS300×300	$10.0 \div 2.0\text{m/本} \quad 360\text{kg/本}$	5.0 本
基礎碎石 RB-40、t=100	$0.50 \times 0.10 \times 10.0 = 0.5$	0.5 m ³
基面整正 人力	$0.50 \times 10.0 = 5.00$	5.0 m ²

単位数数量計算書

細別：掘削・断面積
規 格：

略 図



材料／規格

算

式

数 量

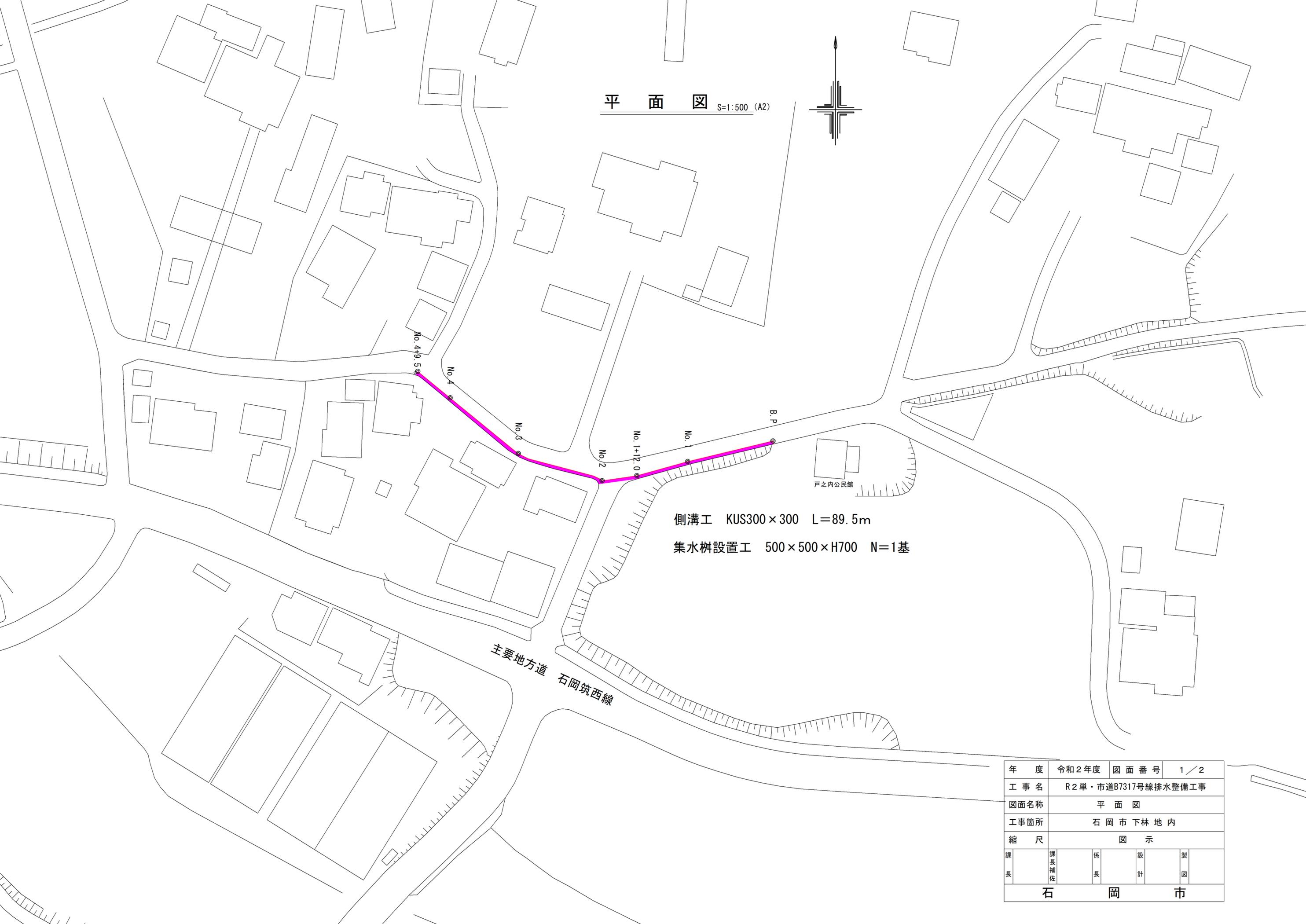
■掘削

<BP~No4+9.5 >

$$W0.5 \times h0.35 = 0.175\text{m}^2 \quad (\text{断面積})$$

※No1+12~No2区間は敷設側溝の両側掘削

平面图 S=1:500 (A2)



側溝工 KUS300×300 L=89.5m

集水樹設置工 500×500×H700 N=1基

主要地方道
石岡筑西線

戸之内公民館

年度	令和2年度	図面番号	1 / 2	
工事名	R2単・市道B7317号線排水整備工事			
図面名称	平面图			
工事箇所	石岡市下林地内			
縮尺	図示			
課長	課長補佐	係長	設計	製図
石岡市				

